

令和元年度 地域発元気づくり支援金事業総括書

事業名	田辺堰周辺整備事業
事業主体 (連絡先)	田辺堰(新川)改修委員会 諏訪市湖南639 八幡義雄 電話0266-52-2159
事業区分	(5) 環境保全及び景観形成に関する事業 ア; 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,444,751円のうち支援金: 3,338,000円)

事業内容

今回の取り組む地域は、諏訪大社上社の東約500メートルに位置し、諏訪地域をつかさどった大祝の住家が隣接し、上社の参道として多くの方が利用した今橋が事業の起点に位置している歴史ある地域です。この地域を多くの方が訪れてくれる魅力ある空間の整備を目指す。

ハード事業

- ・自然石を利用した 護岸整備 L=200m
- ・歴史の散歩道としてシャラ等の植栽
- ・ぬくもりのある木製の橋梁設置 1橋

ソフト事業

- ・冊子「田辺堰を利用した暮らし」A4カラーp8を作成し田辺区各戸配布 学習会に活用



【水辺の観察会の様子】

【目標・ねらい】

- ①歴史あるエリアの紹介
- ②上社の社、歴史の散歩道整備
- ③生き物に優しい自然石護岸

事業効果

・これまでは、田辺堰の両側は有効な利用策が無いままに放置されてきたため、廃材の置き場などにされるなど、個人所有地化、荒れ地化していたが、今回の事業の中で、「河川敷はみんなのもの」との意識が芽生え自発的に廃材の片づけが始まった。

・田辺堰は、延長約4.6kmに及び、上流の上金子区、神宮寺区及び下流域である田辺区の農業用水や生活用水として古くから地域の皆さんに親しまれてきたが、今回の事業を通して上流及び下流域の果たす役割など認識が深まった。

・自然に配慮した護岸や散策路を整備することにより、用水に関わる生き物とのふれあいの場が形成できた。

※自己評価【A】

【理由】

- ・上社の社歴史の散歩道のコースとして利用する人が増えた。
- ・旧宮川河川敷との歴史的な認識が深まった。
- ・自然に配慮した護岸などにより冬鳥の飛来など見られた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・中洲公民館で行っている史跡を巡るコースに取り入れて頂き、高島藩の治水のとりくみによる宮川直線化工事や上金子村がこの事業により受けた影響などを広く皆さんに知ってもらう。
- ・自然に配慮した護岸工事を行い、ホタルの飛び交う環境づくりを目指す。
- ・良好な維持管理を自発的に行うように田辺堰改修委員会が率先して維持管理を行い、地域の人たちからも自発的な管理を行うような雰囲気づくりを行うなど啓蒙活動を行う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある